



「ゆめぴか通信」は、地域で働く看護職に向けて、鹿児島県看護協会保健師職能委員が作成し、情報発信する機関誌です。

本年度、第3回目の保健師研修会を開催しました！

“スッキリ！ナットク！実践力アップ事例検討会”

—日本看護協会 保健指導ミーティング—

平成30年1月26日（金）鹿児島県看護研修会館にて開催
参加者45名 （初めての参加や若い保健師の参加が多かったです。）

♪鹿児島県看護協会 田畑会長のあいさつ

保健指導ミーティングは、「個別事例を支援するために方向性を出すこと。」地域で活動する保健師へ期待している。日看協受託事業で大隅地域で三職種合同研修を開催した。地域包括ケアへ保健師に参画をしてほしい。大分県の保健師の看護協会入会90%以上。災害ナース等の利用をはじめ保健師活動充実のためにも入会をしてほしい。



♪研修導入：「事例検討会とは！」 DVD 視聴「事例検討のすすめ」

事例検討は本人・家族を見てアセスメントしていく必要ありその検討過程をとおして支援者同士の共通認識や事例への実践力がアップし良い支援へとつながります。

♪デモンストレーションとロールプレイ

♪実際の事例を用いた検討会の実施とグループ発表

♪ワールドカフェ(ファシリがグループに残り、1~2人ずつ別のグループへ移動)

♪事例提供者の感想、質疑及びまとめ

この情報は、どこの枠に書けばいいの？



たくさんの情報を事実と想像に分ける作業で情報が整理できるね。

先輩保健師から話を聞くと視点が広がるなあ～

板書係のためにも途中でファシリテーターにボード上の情報を確認してもらおうと助かる！

一人で考えてもこんなに確認することや具体的な支援は出てこなかった。

ホワイトボードの利用により、メンバー全員で共有や理解がしやすくなるんだね。

～参加者の感想～

- ・意見が活発になるって楽しいな。
- ・みんなと一緒に考えることで安心感がある。
- ・発言が板書されるので「見える化」になり理解しやすかった。
- ・地域力がある地域をつくるのも保健師の役割。
- ・ファシリテーター役を上手にできるようになれば自分の考え方の視野が広がり、大きく成長する気がする。
- ・昨年と雰囲気も違い、経験した人も参加しており、活発な意見が出されていた。

～事例提供者の感想～

- ・多くの意見を聞いて自信ができた。
- ・支援に困っていたが、不足した情報がわかり、整理できた。支援の目標も見えてきた。
- ・夏に医療職で検討したケース。今回の参加者でまた違う視点が見えた。

～職場や他職種連携で取り入れるためには……～

- ・定例で行うように「日にち」を決める。
- ・事例はみんなが順番に提供し、役割も交代です。
- ・一度やってみたら、またやりたくなる。その1回をまずは持つよう、時間をとる。
- ・ケアマネとの事例検討会でも活用したい。



～まとめ～

- ・今回で最後の保健指導ミーティングであった。継続したことで参加者も増えた。後は各職場で活用してほしい。DVDの活用やデモンストレーションのシナリオでも実際にしてみてもいい。



<お知らせ>

1 看護協会入会のお勧め

- ⇒職能として自分たちが困っていること声に出せる場
- ⇒スキルアップできる場
- ⇒日看協の研修が受けられます!
- ⇒その他レストランなどで割引になる特典もありま～す!



入会でお得
いっぱい!

2 統括保健等研修会

平成30年3月17日(土) 9:30～ 看護研修会館 3F